

能に親しむコンサート

梅花香る四天王寺と俊徳丸の物語

能「弱法師」から“謡”と“小鼓”を聞く

仕舞 ^{あつもり}「敦盛」・^{たかさご}「高砂」

出演

謡と舞

松井 彬（喜多流シテ方：重要無形文化財総合指定保持者）

大島衣恵（喜多流シテ方）

松井俊介（喜多流シテ方）

案内役と小鼓

久田舜一郎（大倉流小鼓：重要無形文化財総合指定保持者）

平成 19 年 11 月 29 日（木）

午後 2 時～3 時（開場は 1 時 30 分）

美術館北館 1 階ホール（第 5 陳列室）

自由席、席数には限りがございますのでご了承下さい。
鑑賞無料、ただし本展の観覧券が必要です。

謡曲「弱法師（よろぼし）」

かわち たかやす みちとし ざんげん しゅんとくまる
河内の国高安の左衛門尉通俊は他人の讒言によって我が子俊徳丸を追放して
しまいました。その非を悔いた通俊は四天王寺へ行って不憫なわが子俊徳丸の後
世での安楽を願って施行せぎょうをしていました。そこへ盲目よるぼしの弱法師（実は盲目となっ
た俊徳丸）が現れ施行を受けます。弱法師は四天王寺の縁起えんぎを語り、折しも西の
海に沈む入り日を拝みます。彼は、かつて見た難波周辺の景色を心眼たっかんで見
て達観しますが、実際には目が見えないのであり、往来の人にぶつかって倒れたり
します。
すでに我が子と気づいていた通俊は、夜になって自ら名乗り、俊徳丸を高安に連
れて帰ります。

能楽師 久田舜一郎（ひさだしゅんいちろう）

1944年 7月30日生まれ。西宮市在住

能楽協会 大阪支部所属

1961年 大倉流十五世宗家、故大倉長十郎師に内弟子入門
師事

1986年 重要無形文化財総合指定認定 日本能楽会会員、
大阪能楽養成会講師 能楽協会大阪支部常議員

1969年 道成寺初演

1997年 姨捨 初演

1995年～ ジーベックホール（神戸）での「能の音楽、間
の音楽」シリーズの他、神戸生協の古典芸能シリ
ーズ等、多くのホール、ギャラリー等で能楽堂を
出て、能と能のおんがくの発展普及の為の企画プ
ロデュースを手がける。社中会「松月会」を東京、
名古屋、大阪、神戸、福岡、その他にて指導する。

海外公演

2000年9月ドイツ公演

2001年4月台湾公演

2001年5月フランス公演

他多数



■お問い合わせ 大阪市立美術館[天王寺公園内]

〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町 1-82

TEL 06-6771-4874

<http://www.city.osaka.jp/museum-art/>